



## 中世和歌、特に慈円『拾玉集』を中心にした研究

人間文化学部 国際文化学科

石川 一 (いしかわ はじめ) 教授

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1912号室  
Tel 082-251-9966 Fax082-251-9405  
E-mail [ihajime@pu-hiroshima.ac.jp](mailto:ihajime@pu-hiroshima.ac.jp)

専門分野： 中世文学、和歌文学

キーワード： 新古今集、慈円、拾玉集、天台座主

### ●研究内容

○ 新古今時代の歌人慈円とその家集「拾玉集」について研究しています。成果は『慈円和歌論考』（笠間書院・平成10年）に結実しています。現在は和歌文学大系『拾玉集（上）』（明治書院）を上梓し、引き続き『拾玉集（下）』刊行に勤んでいます。

○ 特に承久の乱を回避するために著した「愚管抄」および「法楽百首群」について精査しています。2006年度のフランスEPHEでの講義要旨がAnnuaire Tome 114に掲載されました。

○ また、元禄期に対馬藩外交掛を務めた雨森芳洲の家集「芳洲詠草」の翻刻、及び詠歌方法の解明を進めています。

○ 平成13年度から国文学研究資料館の文献資料調査を始めている「正宗文庫」善本叢書を定期的な刊行を始めました。

### ●研究成果

① 科学研究費「寺社縁起形成を視点とした慈円法楽百首群についての基礎的研究」（平成17～20年度）を承け、新たに科学研究費「法楽歌分析による寺社縁起との相関関係に関する基礎的考察」（平成21～24年度）が採用されています。

② 「芳洲詠草」の巻1から5までの翻刻を公開しています。

③ 平成20年度中世文学学会大会シンポジウ

ムのパネラーとして、「歴史意識と『派生』」を公表し、機関誌『中世文学』（54号・平21）に掲載しています。

④ 平成21年度皇學館大学神道研究所公開学術シンポジウムのパネラーとして、「慈円『法楽百首群』の位相」を公表し、機関誌『皇學館大学神道研究所紀要』に刊行する予定です。

⑤ その他、和歌文学会関西例会・仏教文学会例会などで口頭発表などを行なっています。

### ●期待される成果と応用

① 日本文学、和歌文学に興味を抱いている地域の人たちとの交流が行える。

② まだ公表されていない家集・詠草などの読解および翻刻を支援できる。

### ●想定される連携先

① 地域住民とその団体

② 地方公共団体

③ 毎日を飽き足らなく思っている有識者・有志